

学習課題(中学校2年生)



【国語】

＜学習内容＞「モアイは語る－地球の未来」

○教科書「モアイは語る－地球の未来」(P124～129)を読み、論の展開に着目し、筆者の考えや環境問題について自分の意見をもとう。

＜取り組み方＞

◆「モアイは語る－地球の未来」を参考として、「環境問題」について意見文を書いてみよう。

(1) 教科書 P124～129 を音読してみよう。

(2) 序論と本論を読み、提示された問いや問題とその答えを整理しよう。

①序論について、提示されている問いや問題を四つ探し、線を引いてみよう。

学習のヒント 論の展開を捉えよう。※参考：P130～131

- ・序論 … 導入や、問題・話題提起をする。
- ・本論 … 問いに対する答えを述べたり詳しい説明をしたりする。
- ・結論 … 説明のまとめ、意見や主張をする。

② 本論を読み、問いや問題の答えの根拠となる記述に線を引き、答えについて簡単にまとめてみよう。

※「根拠」…考えや意見のもとになる事実。

学習のヒント 事実と意見を文末表現に注目して読み分ける。

- ・事実…実際の出来事や調査・分析の結果、事物の特徴のこと。

【文末】～だ（です）／～である（です）／～明らかになった など

- ・意見…その人が判断したことや考えたこと。

【文末】～と考えられる／～だろう／といえる など

学習のヒント 序論に提示されている問いや問題

- A 「モアイは誰が（ ）か。」
- B 「モアイをどうやって（ ）のか。」
- C 「なぜモアイは作られなくなったのか。」
- D 「モアイを作った文明はどうなってしまったのか。」

③ 「そのような経過をたどり」(P128の12行目)とあるが、イースター島はどのような経過をたどったのか、「食糧危機」「部族間の抗争」という言葉を用いて、まとめてみよう。

(3) 筆者の主張を捉えよう。

- ① 結論の内容について、イースター島での出来事と現在の地球の状況を比較しながら整理してみよう。

(例)

イースター島での出来事	現在の地球の状況
イースター島は、かつては、ヤシの木に覆われていた。	
十一世紀頃に、イースター島の人口が急激に増加した。	
どこからも食料を運んでくることができなかった。	

- ② 筆者が最も伝えたかったと思われる一文について、文末表現に着目して選んでみよう。
- ③ 筆者の述べ方について、どのような点が工夫されていたか、自分の言葉で簡単にまとめてみよう。
- ・序論にはどのような工夫があっただろうか。
 - ・根拠の示し方には、どのような工夫や効果があっただろうか。

(4) 「環境問題」について筆者の主張や述べ方、自分の体験や知識をもとに、意見文を書いてみよう。(教科書「根拠の適切さを考えて書こう」P134～137を読み、参考にしよう。)

- ① 環境問題について、新聞・テレビ・インターネット等から情報を集め、自分の考えや意見をまとめよう。
- ② 自分の意見を支える根拠をまとめよう。
- ③ 筆者の論の展開の仕方を参考にして、六百字から八百字程度で意見文を書いてみよう。

※(1)～(4)に取り組む中で気付いたことや考えたことについて、取組シートに記録しておこう。